



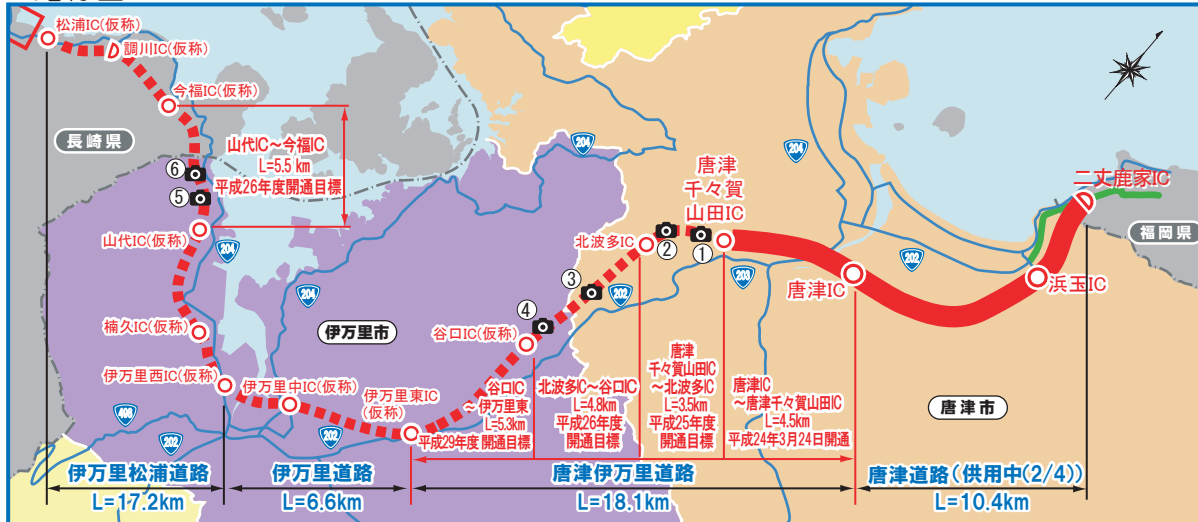
新年あけましておめでとうございます。

本年も西九州自動車道の早期開通を目指し事業に取り組んで参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ちやくちやくと整備が進む西九州自動車道

■路線図



西九州自動車道唐津伊万里道路及び伊万里松浦道路の開通に向けてちやくちやくと整備が進んでいます。

唐津市内では唐津千々賀山田IC~北波多IC間の開通へ向けて北波多上平野地区の改良工事を推進するとともに畑島地区の舗装工事にも着手しています。

また、北波多下平野地区においても橋梁工事を推進中です。

さらに、伊万里市内では南波多町重橋地区の改良工事を始め、山代町久原地区の橋梁等の構造物工事、山代町立岩地区の改良工事を推進中です。



⑤伊万里市山代町久原地区



③唐津市北波多下平野地区



⑪唐津市畑島地区



⑥伊万里市山代町立岩地区



④伊万里市南波多町重橋地区



②唐津市北波多上平野地区

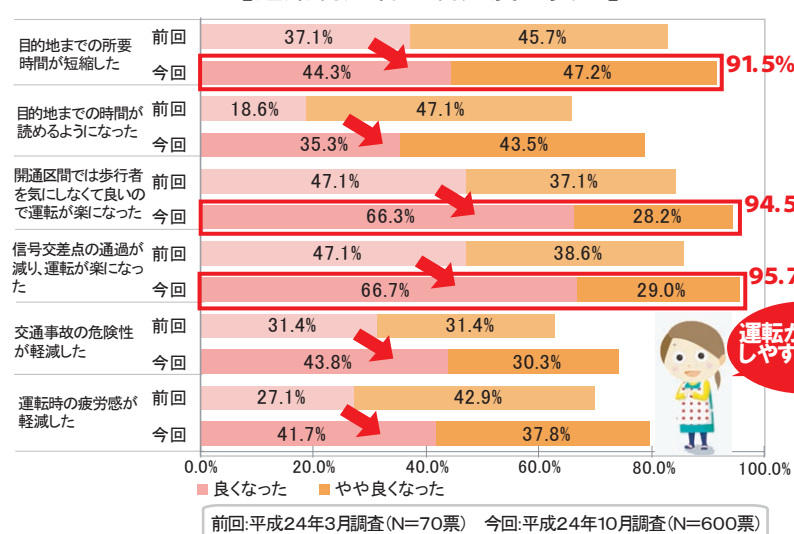
唐津伊万里道路（唐津IC～唐津千々賀山田ICの開通が「混雑の緩和」、「時間短縮」、「満足度の向上」に寄与）

西九州自動車道の沿線にお住まいの皆様が唐津伊万里道路（唐津IC～唐津千々賀山田IC）の開通をどの様に実感されているかについて開通直後と開通半年後にアンケート調査した結果、開通直後から時間の経過とともに満足度が向上しているという結果になりました。

一方で、この開通に伴い唐津千々賀山田ICが接続する県道千々賀神田線と国道202号が交差する「唐津市千々賀交差点」では開通前より混雑が悪化したとのアンケート結果となりました。

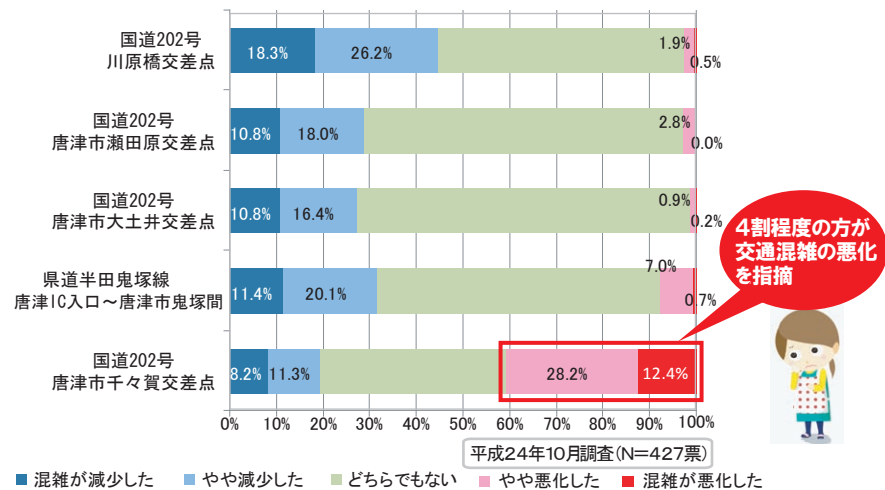
開通後の時間の経過とともに、利用満足度が向上、特に、「所要時間短縮」「運転快適性」については9割以上の方が実感

【道路利用者の満足度の変化】



唐津市千々賀交差点では開通前より混雑悪化と実感

【道路利用者の満足度の変化】



※唐津市千々賀交差点の混雑の解消については唐津伊万里道路の開通区間が延伸することで解消される見込みです。

「西九州自動車道」全線開通による唐津“の発展”

佐賀県の北西に位置し玄界灘に面する「唐津」は、日本三大松原の一つにも数えられる。虹の松原などの自然景観をはじめ、毎年11月に開催される唐津神社の秋祭り、唐津くんち“や、伝統工芸唐津焼”などの豊富な観光資源に恵まれた街です。また、“旧唐津銀行“や”鯨組主中尾家屋敷”などの歴史的価値を持つ建築物、イカの活き造り“や”佐賀牛”などの海の幸・山の幸も豊富であることから、毎年多くの観光のお客様が唐津にお見えになります。



社団法人唐津観光協会職員
廣瀬 克輝

車道」に繋がる「二丈浜玉有料道路」が、平成25年4月より無料化になります。これに伴い、関係団体と協議連携し、観光“唐津”をアピールすると共に、より多くのお客様に唐津の魅力に触れていた
 だくべく、観光周遊コースの作成及び旅行商品を開発し、唐津観光の回遊率アップ及び観光消費額の
 増加を目指していきたいと考えております。

今後「西九州自動車道」全線開通により、より多くのお客様がご利用になられることに期待が高まります。交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加のために「いかに唐津に来ていただくか？」魅力作りや観光資源の活用方法などの課題も多いと感じますが、大きなチャンスとして、唐津市・玄海町の地域経済の発展を期待するとともに、浮揚に繋がる働きかけに努めていきたいと思います。

観光交流の輪を広げる道

「西九州自動車道」の開通に寄せる期待

西九州自動車道が伊万里市に入ってくる日がいよいよ近づいてきました。

平成26年度には谷ローC(仮称)が、平成29年度には伊万里東ーC(仮称)が供用開始になるとの発表があり期待は高まるばかりです。

平成3年に期成会が立ち上げられてから20年、先人達のご尽力に感謝いたします。

平成24年3月、唐津千々賀山田ーCが供用開始になりました。実際ここから福岡市まで利用してみてもかなり早くて近いと実感します。言うまでもなく谷ローC(仮称)が開通すればもっと早



南波多公民館
館長 谷 成 敏

のとフルーツの里』である伊万里へ焼物や農産物を求めて観光客が訪れることでしょう。

特に南波多町は西日本有数の梨ぶどうの生産地であり、生産量はもちろん、新しい品種にも取り組んでいます。ブランド牛として知られる伊万里牛も多く飼育されており、地元の販売店には伊万里牛を求め、福岡ナンバーの車が多く乗り入れされています。開通により福岡都市圏との輸送時間が大幅に短縮されれば、更なる経済効果を生み出すに違いありません。

また、シーズンには多くの観光農園が開園します。各地よりこれまで以上の人が南波多町を訪れ自然に触れ、収穫体験を通じて交流の輪が広がることも期待しています。

ひとつ心配なのは、「素通りの町」にならないかということです。町内に2つのインターが供用開始になると、国道202号の交通量は減少することが予想されるので、これから先は集客できる「魅力あるまちづくり」が必要になります。

今、公民館の窓から工事を終えた西九州自動車道の一部が見えます。数年後には車の走る姿が見えることでしょう。

この西九州自動車道は、産業・経済を活性化し、また防災面からも安全安心を支える重要な道路であります。早期の延伸開通を待望しています。

唐津IC付近の道路予定区域で
パーク＆バスライドの社会実験を実施中！

平成24年度の道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）として、西九州自動車道唐津―C付近に存する道路予定区域においてパーク＆バスライドを実施しています。

実施主体としては、地元自治区、昭和自動車（株）、（社）唐津観光協会、唐津商工会議所、唐津市役所、佐賀県唐津土木事務所、佐賀県唐津警察署、国土交通省佐賀運輸支局、国土交通省佐賀国道事務所からなる「道路予定区域の活用に関する社会実験実行協議会」において実施しています。

本実験は、道路予定区域を活用した駐車場整備を行い、現在、福岡市と伊万里市間で運行されている高速バス「いまり号」を活用し、主に福岡市街地への通勤・通学や買い物について、自家用車からバスへ乗り換え、交通渋滞の緩和や交通事故の減少、環境負荷低減等を図るものです。

既に昨年の平成24年10月28日（日）より運用を開始しており今年の3月17日（日）まで実験を実施予定です。

皆様も機会がありましたら是非お試し下さい。

“Challenge Karatsu Busride” 497 “かしこい車の使い方”

パーク&バスライド

社会実験

お試し期間

平成24年10月～平成25年3月

※駐車場料金は無料ですが高速バス料金は個人負担となります。

唐津市

乗り換えてみてね!!

福岡市

パーク&バスライドとは

自宅から運転してきたマイカーをバス停近くの駐車場に駐車し、バスに乗り換えて通勤・通学などの移動をすること。都心部の交通混雑緩和や地球にやさしい環境づくりなどのために考えられた交通システムです。

交通渋滞が緩和するよ!

自家用車からバスに乗り換えることによって車が道路から減り、交通渋滞が緩和します。

交通事故が減るよ!

車が道路から減ることによって交通事故が減少し、安全に走行できるようになります。

環境に優しいよ!

自家用車が1人あたり1km走行に排出するCO2がバスの約20倍。バスに乗り換えることによってCO2の排出が削減され、地球温暖化防止につながります。

一人一人の行動が社会全体を良くします。

実施主体：道路予定区域の活用に関する社会実験実行協議会
関係先：国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所 計画課
(事務局) 唐津市役所 建設部 道路河川課

連絡先 0952-32-1151 (平日 8:30～17:15)
連絡先 0955-53-7047 (平日 8:30～17:15)

編集後記

○昨年は九州北部地域において集中豪雨による甚大な被害が発生しました。被災された方々にこの場をお借りして心からお見舞い申し上げます。

私たち佐賀国道事務所も防災官庁としてこの災害を教訓として今後、災害に強い道路づくりや維持管理を進めて参ります。

○西九州自動車道についても佐賀県北西部の主要幹線道路である国道202号や国道204号において路面冠水や土砂災害等が発生した場合の代替路線としての機能を果たし、安全かつ円滑な交通の確保に寄与するものであることから、1日でも早い開通を目指して事業を進めて参りますので引き続きご協力をお願いします。

[illegible]

地域の
イキ
の
お知らせ

